

## 再評価結果（平成 31 年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課  
担当課長名：東川 直正

事業名	一般国道55号 <small>なんこくあまきどうろ</small> 南国安芸道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県南国市物部 至：高知県安芸郡芸西村西分			延長	12.5km
事業概要	<p>一般国道55号は、徳島市を起点に阿南市、海陽町、室戸市、安芸市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域交通ネットワークを形成する基幹道路として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>一般国道55号南国安芸道路は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、地域産業（観光振興）の支援、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援などを目的としている。</p>				
H12年度事業化	H11年度都市計画決定 (H21年度変更)	H14年度用地着手	H15年度工事着手		
全体事業費	597億円	事業進捗率 (平成30年3月末時点)	約68%	供用済延長	9.0km
計画交通量	17,300～26,100台/日				
費用便益 分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (2.9) (残事業) 2.4 (2.8)	総費用 (残事業)/(事業全体) 735/3,428億円 事業費：634/3,255億円 維持管理費：101/173億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,775/4,787億円 走行時間短縮便益：1,531/4,158億円 走行経費減少便益：173/472億円 交通事故減少便益：71/158億円	基準年 平成30年	
感度分析の結果	<p>(事業全体)交通量：B/C=1.3～1.5（交通量±10%）      (残事業)交通量：B/C=2.0～2.9（交通量±10%）                  事業費：B/C=1.4～1.4（事業費±10%）                      事業費：B/C=2.2～2.6（事業費±10%）                  事業期間：B/C=1.4～1.4（事業期間±20%）                      事業期間：B/C=2.4～2.5（事業期間±20%）</p>				
事業の効果等	<p>南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、現道の渋滞緩和、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援及び高知IC・高知新港・高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化など多様な効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等における混雑時旅行速度の改善が見込まれる。</li> <li>・路線バス等の速達性・定時性が向上し利便性向上が期待できる。</li> <li>・JR高知駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する。</li> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する。</li> <li>・日常活動圏中心都市（高知市）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援。</li> <li>・高知県東部地域の観光地へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高知医療センター）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺道路の交通量が減少することで安全性の向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる。</li> <li>・高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。</li> <li>・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される。</li> <li>・国道55号の防災点検箇所を回避したルートが形成される。</li> </ul> <p>⑧地球環境の保全</p>				

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。
- ⑨生活環境の改善・保全
  - ・NOX排出量の削減が見込まれる。
  - ・SPM排出量の削減が見込まれる。
- ⑩他のプロジェクトとの関係
  - ・南国市都市計画マスタープランの中で「交通施設の整備方針」として位置づけられている。
- ⑪その他
  - ・「南海トラフ巨大地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・地域から頂いた主な意見等  
高知東部自動車道整備促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。
- ・高知県知事の意見  
事業継続に異議はありません。  
一般国道55号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道や高知新港、高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを大きく支えるとともに、発生確率が高まる南海トラフ地震や近年激甚化している豪雨災害等が発生した際の円滑な支援部隊の進出や緊急物資の輸送等において、大変重要な役割を担うことから、住民も開通に大きな期待を寄せています。  
このため、開通予定年度が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向けた事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成20年7月 高知自動車道（南国IC～高知IC）延長7.6km 4車線化
- ・平成22年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）実施
- ・平成23年3月 高知東部自動車道（香南やすIC～芸西西IC）延長3.9km 2車線開通
- ・平成23年度 一般国道55号南国安芸道路（芸西西IC～安芸西IC）延長8.5km事業化
- ・平成23年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）一時凍結
- ・平成24年度 一般国道55号安芸道路 延長5.8km事業化
- ・平成25年2月 高知東部自動車道（香南かがみIC～香南やすIC）延長2.9km 2車線開通
- ・平成26年3月 高知東部自動車道（香南のいちIC～香南かがみIC）延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月 高知東部自動車道（高知南IC～なんこく南IC）延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月 高知東部自動車道（なんこく南IC～高知龍馬空港IC）延長4.1km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成12年度に事業化、用地進捗率92%、事業進捗率68%（平成30年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期の全線開通に向けて用地買収及び工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 費用便益分析結果の ( ) 書きは、南国安芸道路の分析結果を記入している。  
 ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。